

農作物の状態や作業内容に合わせてカスタマイズできる装置や機械、 無いなら自作してしまおう。それも低コストで！

～課題解決から生まれる農家発イノベーション～

農業者が減少する中、農作業の効率化、農作業における身体の負担の軽減、農業経営管理の合理化による農業の生産性の向上を目指し、ロボット・AI・IoT技術の活用が進められています。

これらの技術は向上していますが、一方で導入コストや専門技術を要するメンテナンス等の課題もあります。

このような中、中山間地域の耕地面積の割合が高い近畿地域では、高齢化と担い手不足の深刻化、非効率な生産条件などから、経営規模やほ場条件、労働力など、「身の丈に合った」技術の開発や導入を実践していくことも重要だと考えられます。

そこで、経営実態や将来の構想を見据え、若手農業者が自身の創意工夫とDIY（自作）で独自にカスタマイズした簡易で低コストに取り組むことができる技術を紹介していただき、それぞれが抱える現場課題の解決に向けた参考ヒントになればと考えております。

あわせて、本セミナーを契機に生産者、関係者が交流、連携し、現場感覚で生みだされる様々なアイデアを共有し、オリジナルの農家発イノベーションが生まれることを期待しています。

NPO法人近畿アグリハイテク 理事長 白岩立彦
(京都大学名誉教授・NPO法人無施肥無農薬栽培調査研究会理事長)

どなたでも参加いただけます
無料・事前申込

(日時) 2026年2月20日(金) 13時～16時20分

(場所) キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室

(京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939)

(対象) 生産者、民間、大学、自治体等の研究開発・技術者、教育・普及関係者、一般の方など、どなたでも参加いただけます。

第1部 (プロフィールは裏面をご覧ください)

1. 生育環境と植物の個性をうまく調和させ、安価に手に入れられる機械を自作し、作業を省力化

稲清農園 副代表 稲山 純生 さん〈大阪府柏原市〉

2. 観測データに基づき自作でハウス内の環境制御を自動化、目指す経営に向けて施設をバージョンアップ

あゆみ農園 代表 西 歩 さん〈和歌山県岩出市〉

3. 現場の課題を創意工夫で解決！安価、安全、コンパクトな「選果ロボット」を開発、製品化し、農家の高齢化・人手不足に貢献

専業農家(株式会社 イモテック代表取締役) 塩川 武彦 さん〈埼玉県川越市〉

第2部

参加者交流会(技術に関する質問、現場課題やアイデアなどの情報交換)



◇主催：NPO法人近畿アグリハイテク

※本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援委託事業により実施するものです。

講師（生産者）のプロフィール



稲清農園 稲山 純生（いなやま すみき）さん

- ・ぶどうを100年以上生産している専業果樹農家の後継者
- ・市販品機械の改良やオリジナル機械の開発により、自身の経営に合ったスマート農業による新たな営農展開に向けてチャレンジ
- ・これらの技術を近隣生産者へ伝達、普及するとともにレベルアップに貢献
- ・第4回おおさかアグリノベーションングランプリ特別賞受賞

あゆみ農園 西 歩（にし あゆみ）さん

- ・2010年新規就農の専業農家。パプリカの施設栽培に加えズッキーニなど、未利用施設や空き農地を再整備して規模を順次拡大
- ・施設園芸における環境制御の標準化と低コストなシステム構築を可能にするUECSを基礎技術とした環境制御技術を導入しモニタリングを開始（2017）
- ・モニタリングで分析したデータを生かして開閉作業・ミスト・灌水等の自動化を開始し、基盤製作にも着手（2018）



塩川 武彦（しおかわ たけひこ）さん

- ・主にサトイモやチンゲンサイを生産する専業農家
- ・長時間にわたる選果作業の省力化を、安価、安全、コンパクト、持ち運びやすさにも配慮し、個人小規模農家で活用できる機械を開発、特許を取得し、製品化
- ・計量皿の試作、工夫により一つの計量皿で丸物から長物まで対応できるように改良し、柑橘、ピーマン、牡蠣等でも活用
- ・第2回埼玉ニュービジネス大賞受賞、令和7年度埼玉農業大賞（革新的農業技術部門）受賞

◎ 申し込み方法

- ・お名前
 - ・ご連絡先（メールアドレス、電話番号）
 - ・所属団体名又は住所（市町村名までで結構です）
- をご記入のうえ、
メールまたはファックスで
2026年2月13日（金）までにお申し込み
ください。

※お申し込みに係る個人情報につきましては、
本セミナー以外では使用いたしません。

◎ 問い合わせ・申込先

NPO法人近畿アグリハイテク

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 (財)生産開発科学研究所内

TEL/FAX：075-711-1248

E-mail：office@kinkiagri.or.jp

Robosenka

特許取得済み
特許 第7398766号

日本農業新聞社2024年
営農技術アイデア大賞受賞!

『ロボせんか。』で、
誰でも早く正確な選果。

『ロボせんか。』の大きな特長は、1個当たり約1秒で選別ができる事です。
ジャガイモやピーマン、里芋など、設定した規格ごとに瞬時に分類する事が
可能です。従来の回転式やコンベア式の選別機に比べて小型で持ち運び
もカンタン! 使用しない時も場所を取らず、どこにでも簡単に収納できます。

CASE.1	CASE.2	CASE.3
選果を含む出荷調整に 時間がかかりすぎる...	選果作業による神経疲労、 目の疲れなどが気になる...	既存の選別機は大きく、 置く場所をとる...

1つの計量皿で、様々な 品目に対応! 高さ調整可能 &省電力設計!	置くだけ簡単! 1個当たりの 処理時間は約1秒。
規格の設定は、 自由に変更可能。	小型で軽量! 持ち運びが簡単。 使用しないときの置き場所にも 困らない。



『ロボせんか。』で解決!

『ロボせんか。』の使い方

計量皿に寄せられた農産物の
重量を計測し、自動で特定の
方向に傾くことによって
農産物を規格ごとに分類可能。

